

ベトナム産エビからのスルファメトキサゾール検出事例報告

保健科学課 田中 志歩・河野 嘉了・藤井 優寿・宮本 道彦^{*}・重岡 昌代・藤岡 栄子

^{*}福岡市道路下水道局水質管理課

第 45 回九州衛生技術協議会衛生化学分科会

平成 31 年 1 月，収去検査において，ベトナム産のバナメイむきえびから，合成抗菌薬のサルファ剤であるスルファメトキサゾールが検出された．スルファメトキサゾールは食品衛生法の食品等の成分規格として含有してはならないとされており，成分規格違反が疑われた．

そこで対象試料を用いた繰り返し試験，えびにおけるスルファメトキサゾールの試験法の妥当性評価及び液体クロマトグラフ-飛行時間型質量分析計（以下，「LC-QTOFMS」とする．）での確認試験を実施した．

対象試料を用いた繰り返し試験を行った結果，濃度平均値は 0.016ppm で回収率も良好であった．えびでの試験法の妥当性評価を行った結果，性能パラメータは目標値に適合した．また，LC-QTOFMS でのライブラリとの照合により，対象試料から検出された化合物はスルファメトキサゾールと判断した．